

2022年度 事業報告書
法人の名称 NPO 法人つなぐ

1 事業の成果

今年度は、設立当初から目標にしてきた「認定 NPO 法人」の取得について昨年の総会終了後から取り組みました。これまで準備してきた書類を揃え 2022 年 7 月 12 日申請し、10 月 7 日市民局の方々 3 名による事務所での実態確認を経て 2023 年 1 月 6 日付での「特定非営利活動法人認定通知書」を頂くことができました。つなぐの活動が広く一般から支持され、その活動や組織運営が適正に実施されてきたことの証明でもあります。成年被後見人さん等の大切な財産をお預かりするという業務内容から認定 NPO 法人の取得は、安心してつなぐを利用していただくためにも大きな意義があります。そして今後は認定 NPO 法人を継続していくためにより一層の努力が必要とされることとなります。

つなぐの組織体制については事務局員の増員があり、今後の発展につながる基盤が整いつつあります。増加する相談や受任に対応するため人材育成を重点課題として、担当者養成研修や担当者向けの専門研修も幅広い知識を必要とする後見業務に対応できるよう様々な講師を招聘して実施しました。

コロナ禍での活動も工夫を重ねながら出張相談ではなく事務所での「小さな勉強会」と称して気軽に参加できる相談会を開催したところ予想以上の参加者を得ることができました。けんたろうカフェは、「障がい者の住まいに関する調査研究」報告会とつなぐの事例報告を兼ねた勉強会の 2 回開催することができました。

また今年度から 3 年間の調査研究として中央共同募金会「赤い羽根福祉基金」の助成金を得て、「知的障がい・精神障がいの方のための意思決定支援ツールの開発」に取り組んでいます。障がいのある方のための「意思決定大作戦」は、芸人さんに依頼し楽しいイベントの中に難しい題材を盛り込んだ形で開催しましたが参加者には大変好評でした。ツールの開発につきまちはイラストを専門家に依頼し分かりやすさを追求しているところです。

2 事業内容

特定非営利活動に係る事業

(1) 成年後見に関する普及啓発、相談、利用支援、申立支援等に係る事業

- ・内 容 成年後見制度の普及・啓発に関する研修会等への講師派遣、利用に関する相談支援
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市内及び川崎市内
- ・従事者人員 延べ 67 人
- ・受益対象者 成年後見制度利用を必要とする障がい者、家族、その支援者等
- ・支出額 297,888 円

(2) 成年後見人等の法人受任に係る事業

- ・内 容 当事者・家族・関係諸機関への法人周知、広報活動、研修、成年後見人等の法人受任
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市内及び川崎市内
- ・従事者人員 延べ 131 人
- ・受益対象者 成年後見制度利用を必要とする障がい者と家族
- ・支出額 4,364,029 円

(3) 障がいのある方の親なき後に係る相談、任意後見、委任契約、遺言、家族信託等に係る事業

- ・内 容 障がいのある方の親なき後に係る相談、任意後見、委任契約、遺言、家族信託等に関する相談支援
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市内及び及び近隣の都市
- ・従事者人員 延べ 16 人
- ・受益対象者 障がい者の家族
- ・支出額 549,061 円

(4) 地域包括ケアシステムに係る事業

- ・内 容 地域の高齢者（障がい者の親を含む）に対する居場所・交流の場の提供
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市内
- ・従事者人員 延べ 18 人
- ・受益対象者 地域の高齢者等
- ・支出額 23,416 円

(5) その他目的を達成するために必要な事業

- ・内 容 後見業務を通して実感する社会課題に対する調査研究
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市内
- ・従事者人員 延べ 121 人
- ・受益対象者 障がい者やその家族
- ・支出額 2,749,336 円